

平成21年度 **生徒**による学校教育自己診断結果（多部制単位制Ⅲ部）

平成22年3月実施

診断結果から得点の高い順に項目をあげると

2	この学校には、他の学校にない特色がある。	3.43↓
27	成績などの内容についてプライバシーが守られている。	3.32→
10	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	3.28→
11	先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。	3.23↓
3	学校は生徒の意見をよく聞いてくれる。	3.19↓

得点の低い順に項目をあげると

18	部活動に積極的に取り組んでいる。	2.29↑
6	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。	2.31↓
29	授業や部活動での活動を通して、近隣の学校との交流の機会が多い。	2.34↑
28	授業や部活動での活動を通して、地域の人々とかかわる機会が多い。	2.45↓
17	あなたは生徒会活動(体育祭・文化祭を含む)に関心を持って積極的に参加している。	2.61→

平均点が若干下がった(2.96 → 2.89)。昨年の回答数が少なかったもので、今回の方が実態に近い数字が出たものと思われる。得点の高い項目のベスト5は昨年と全く順位も含めて同じである。項目2「この学校には、他の学校にない特色がある」が常に高いポイントをあげているのは単位制および前・後期制をとっている本校としては当然と言える。また、様々な事情を抱える生徒が多く入学し、プライバシーの保護が求められると共に一人ひとりの生徒に個別に対応しなければならない本校において項目27・10・11・3が高いポイントを維持していることは本校の人権教育が生徒指導において実践されている証として、また教員への信頼度の高さの現われとして喜ばしいことである。

得点の低い5項目は順位の変動はあるものの昨年と同じである。特に項目18「部活動に積極的に取り組んでいる。」の得点は大幅にアップした。さらに部活動の活性化に取り組みたい。昨年得点がアップした項目6「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」が今年の結果が芳しくなく、教員間での授業見学や授業のあり方について研修するなど授業力を向上する取組みが求められる。

項目1「あなたは学校へ行くのが楽しい」(2.87)、項目4「授業はわかりやすく楽しい」(3.02)、項目14「ホームルームなどで将来の進路や生き方について考える機会がある」(2.84)は過去4年間でポイントは微増しているが、より高いポイントが望まれる。学校の取組みをさらに進める必要がある。

項目23「教室・特別教室・運動場などは、授業がしやすいよう整備されている」(3.16)のポイントが高く、事務職員・技術職員の努力が評価されている。一方、項目24「学校の施設・設備がこわれたときは、すぐに修理される」(2.90)のポイントが下回っているので、生徒の気づいた箇所を教員が掌握できる工夫が求められる。